

ひらつか市民活動センター運営業務委託中間報告書

1 実施業務

ひらつか市民活動センターの設置及び管理等に関する条例及び施行規則に基づき、ひらつか市民活動センター（以下、「センター」という。）の管理等に関する業務全般を行った。

主な実施業務は次のとおり。

(1) 市民活動推進のための施設及び設備を利用に供すること。

ア センターを利用するものの利用承認に関する業務

【新規登録件数】

市民活動団体	2 団体
一般団体	2 団体

イ センターの会議室、特定設備及びレターケース等の利用承認に関する業務

【会議室等利用状況】

項目	区分	2023(R5)年度				2022(R4)年度				前年差	増減率
		午前	午後	夜間	全体	午前	午後	夜間	全体		
団体数	会議室	385	425	321	1,131	388	464	346	1,198	▲ 67	94.4%
	MTG	302	452	117	871	238	344	88	670	201	130.0%
	情報	22	18	13	53	42	54	4	100	▲ 47	53.0%
	作業	71	56	3	130	88	94	12	194	▲ 64	67.0%
	合計	780	951	454	2,185	756	956	450	2,162	23	101.1%
利用人数	会議室	3,764	4,221	2,568	10,553	3,274	3,530	2,652	9,456	1,097	111.6%
	MTG	1,379	1,697	389	3,465	786	961	333	2,080	1,385	166.6%
	情報	25	24	16	65	35	51	6	92	▲ 27	70.7%
	作業	185	100	4	289	179	153	14	346	▲ 57	83.5%
	キッズ	14	4	1	19	20		7	27	▲ 8	70.4%
	合計	5,367	6,046	2,978	14,391	4,294	4,695	3,012	12,001	2,390	119.9%

【会議室の稼働率】

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期
2023年度	77.4%	67.4%	74.8%	77.0%	59.5%	72.2%	71.1%
2022年度	70.0%	74.2%	75.2%	78.5%	58.4%	74.4%	71.6%

<施設利用状況の概況>

新型コロナウイルス感染症が5類に移行になり団体の活動も平常時に戻りつつある。センターの利用も増加傾向にある。

- ・第一四半期：前年度比、団体利用数は117.7%、利用人数109.1%の伸び率
- ・第二四半期：前年度比、団体利用数は90.4%、利用人数132.2%の伸び率

となり、利用人数の伸びが大きい。

上期合計：団体数は 101.1%、利用人数 119.9%となった。

会議室稼働率は、全体では 71.1%となったが、時間帯別で見ると午前 72.5%、午後 80.5%、夜間 60.5%となった(稼働率目標値は 80%以上)。

(参考)

- ・前年度(稼働率)：午前 74.4%、午後 81.2%、夜間 59.2%、上期計 71.6%。
- ・会議室の利用実績については、市民活動団体登録 316 団体のうち 129 団体が利用(40.8%)
一般団体登録 134 団体中 30 団体が利用(22.4%)している。

【特定設備利用件数】

ロッカー小・小別	40 個／40 個
ロッカー大	18 個／18 個

【レターケース利用件数】

ロッカー小	72 個／81 個
-------	-----------

ウ センターを利用するものが、センターに設置する印刷機、複写機及びプリンターを使用した場合の使用料、並びに、たすけ愛文庫等の寄附金の収納(徴収)業務

【実施実績】 毎月提出済み

【収納額】

	印刷機	複写機(コピー機)	プリンター	たすけ愛文庫等の寄附金
4月	19,000 円	30,780 円	1,280 円	28,880 円
5月	17,620 円	10,040 円	330 円	11,630 円
6月	19,510 円	12,960 円	0 円	9,930 円
7月	17,180 円	9,360 円	830 円	5,355 円
8月	10,100 円	8,890 円	550 円	9,850 円
9月	22,620 円	15,790 円	910 円	9,600 円

(2) 市民活動に関する情報を収集し、及び提供すること。

ア ホームページ・メールマガジン・SNS等による情報発信

【ホームページ】①トピックス(センターの開館及び会議室の利用状況に関する情報、市民向け講座等の情報、平塚市情報等の掲載、②イベント情報(市民活動団体イベント情報)、③助成金情報、④ボランティア情報、⑤イベン

ト開催レポート（センター主催事業の報告等）⑥ひらつかの風（適宜）
 ・活動センターWeb サイト 2023年9月末までアクセス状況

▼計測期間：2023/4/1~2023/09/30(183日)

▼比較期間：2022/4/1~2022/09/30(前年同時期)

▼ページビュー数（期間中に閲覧されたページの数）

今期：68,735回 1日あたり：375.6人ページ（UA・GA4計測）

前期：73,717回 1日あたり：402.8ページ（UA計測）

▼ユーザー数（期間中にサイトに訪れた人数）

今期：22,603人 1日あたり：123.5人（UA・GA4計測）

前期：23,416人 1日あたり：127.9人（UA計測）

【メールマガジン】毎月10日発行（4月～9月まで6回発行）（226号/9月発行）

登録数：398名

【SNS等による】別紙「ソーシャルメディア利用申請書」のとおり。

▼Facebook：フォロワー331人、「いいね！」308件

（参考：令和4年9月末315人、「いいね！」296件）

▼YouTube：登録者数64人（参考：令和4年9月末37人）

イ 情報紙の発行（年6回／隔月発行）

【ひらつかの風（情報紙）発行】

別紙「ひらつかの風第32、33、34号」のとおり。

第32号	5月15日発行
第33号	7月15日発行
第34号	9月15日発行

ウ ボランティア情報紙の発行（年1回）

【ひらつかの空（ボランティア情報紙）発行進捗状況】

実施内容	実施日
掲載団体募集	5月16日（月）～7月31日（月）
掲載確定（41団体）＊先着35団体	
若者による取材	7月19日（水）～8月26日（土）
改訂版発行	11月15日（水）予定

（3）市民活動に関する調査及び研究を行うこと。

ア センターを利用するものへのアンケート調査（結果の分析を含む）（年1回）

【未実施（12月実施予定）】

(4) 市民活動に関する相談を行うこと。

ア 市民等からの次の相談を行い、相談記録を作成すること。

【相談記録】 別紙のとおり

【相談件数】

相談件数	100 件
(内専門相談)	55 件/100 件

【相談内訳】

項目	2023年度				2022年度				前年差
	市民活動	一般団体	その他	全体	市民活動	一般団体	その他	全体	
ボランティア関連			1	1			10	10	▲ 9
市民活動団体を知りたい			7	7	1		7	8	▲ 1
センター登録関係	4		3	7			3	3	4
団体を作りたい	1		4	5			1	1	4
NPO法人を設立したい	1		3	4	1		1	2	2
助成金に関する	1		1	2	4			4	▲ 2
組織運営に関する(運営・会計・広報等)	16		4	20	11	1	4	16	4
協働に関する	2		1	3			1	1	2
その他	9	2	21	32	15	2	13	30	2
団体登録に関する相談			4	4			16	16	▲ 12
フォロー	9		6	15	41		5	46	▲ 31
合計	43	2	55	100	73	3	61	137	▲ 37

【専門相談】

項目	2023年度	2022年度	前年差
団体運営	4	2	2
法人設立	4	1	3
助成金	2	4	▲ 2
広報・デザイン			
会計・税務	15	12	3
連携・協働	3		3
情報発信			
寄付促進			
その他	14	7	7
フォロー	13	25	▲ 12
合計	55	51	4

(5) 市民活動に関する学習の機会及び市民活動を行うものの相互交流の機会を提供すること。

ア 市民等向け講座の実施(年7回)

【市民向け講座 3回実施】

講座名・講師等	実施日	参加者数
地域の居場所のつくり方 講座 ・基調講演 米田佐知子氏 (子どもの未来サポートオフィス) ・事例紹介 川口貞子氏 (地域のお茶の間研究所さろんどて) 高橋亜依子氏 (ひばり野のなかま達)	7月15日(土) 14:00~16:30	6団体・8人、個人・18人 スタッフ・3人 合計・29人
助成金申請講座 ・講師 坂田美保子 (NPO 法人湘南NPO サポートセンター) ・事例紹介 大野文氏 (子ども学習支援グループ須賀の寺子屋) ・助成事業の説明 菅野希栄氏・戸町彩乃氏 (日本郵政(株)南関東支社) 清水宏文氏 (平塚市協働推進課)	9月16日(土) 14:00~16:30	8団体・10人 スタッフ3人 合計・13人
防災座談会～誰も取りこぼさない共生社会に向けて～ 認定 NPO 法人 かながわ311ネットワーク伊藤朋子代表理事	9月30日(金) 14:00~16:30	8団体・16人、個人・9人 スタッフ・4人 合計・29人

イ センターを利用するもの同士の交流会の実施 (年1回)

【未実施 (2024年2月実施予定)】

ウ 市民活動の普及のためのイベントの実施 (年1回→2回)

【ひらつか市民活動センターまつりの進捗状況】

実施内容	実施日	参加者数	決定事項
実行委員会発足	6月16日(金)	13団体・14人	
第1回実行委員会	6月16日(金) 18:00~19:30	9団体・9人 協働推進課・2人 スタッフ・4人 合計・15人	*実行委員長、副実行委員長の選任。 *開催日時、参加団体数、委員会日程の確認。
第2回実行委員会	7月20日(木) 18:00~19:30	12団体・13人 協働推進課・3人 スタッフ・5人 合計・21人	*出展団体募集状況 *メイン企画、子ども向け企画。 *寄附金募集提案 *チラシ大賞

第3回実行委員会	8月17日(木) 18:00~19:30	11団体・12人 協働推進課・2人 スタッフ・4人 合計・18人	*参加団体確定(55団体) *会場レイアウト *実行委員協力企画 *今後のスケジュール
第4回実行委員会	9月15日(金) 18:00~19:30	10団体・11人 協働推進課・2人 スタッフ・5人 合計・20人	*会場レイアウト、備品の確認 *出展団体全体説明会 *缶バッジづくり日程 *ぬり絵・寄附金依頼
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・崇善小学校マーチングバンドによる演奏（オープニング） ・若者ボランティア活動報告会（ひらつかの空完成披露） ・チラシ大賞表彰式 ・市内幼稚園、保育園児によるセンターマスコット「たすけくんとあいちゃん」のぬり絵の展示 ・ひらつか市民活動センター開館20年記念アーカイブ展示 ・20周年に向けた団体からのメッセージ展示 		

【ひらつか市民活動センターまつりの実施】・・・予定

実施日	参加者数	実施内容
11月26日(日) 10:00~15:00		

【新規企画：夏休み こどもわくわくフェスタ 2023】

市民活動・地域活動への新たな担い手育成と市民活動団体のノウハウや専門性のPRを兼ねて実施した。*崇善公民館との共催事業

実施日	参加者数	実施内容
7月29日(土) 10:00~14:00	来場者数：1716人 出展団体：14団体 ・ゲスト・2団体 江陽中学校科学部 UD DANCE SCHOOL	3月9日(木) 15:00~16:30 キックオフミーティング 大学生2人、スタッフ3人 4月14日(金) 18:00~19:30 参加団体説明会 12団体 7月28日(金) 15:00~17:00 前日準備 7月29日(土) 8:45~16:30 施設全体を活用して開催

エ 特定非営利活動法人の会計・税務相談会の実施（年1回）

【会計・税務相談会 1回実施】

講座名・講師等	実施日	参加者数
会計・税務相談会 徳永、小原税理士	12月～1月にかけ て予定	

(6) 市民活動に係る人材の育成を行うこと。

ア 若者のボランティア参加を促進する事業の実施（年1回）

【若者のボランティア参加を促進する事業の進捗状況：ボランティア情報誌ひらつかの空】

実施内容	実施日	参加者数	決定事項	
①オリエンテーション	6月10日（土） 14:00～16:00	大学生5人、社会人1人、 スタッフ3人 合計9人	①大学生5人、社会人1人で発足。経験者を交え、取材時の心構え等を共有。取材先の選定。 ②ボランティア活動体験及び取材、取材後はひらつかの空掲載に向けた原稿の作成	
②ボランティア活動・取材				
1.NPO 法人ニッポンアクティブライフクラブ	7月19日（水） 14:00～15:00	大学生1人、スタッフ1人 合計2人		
2.NPO 法人暮らし・つながる森里川海	7月30日（土） 9:00～12:30	大学生2人、スタッフ0人 合計2人		
3.馬入花畑の会	7月27日（水） 9:00～11:30	大学生2人、スタッフ0人 合計2人		
4.ひらつか防災まちづくりの会	8月20日（日） 10:00～12:00	大学生2人、スタッフ1人 合計3人		
5.平塚をみかく会	8月20日（日） 10:00～12:00	大学生2人、スタッフ0人 合計2人		
6.平塚地区BBS会	8月26日（土） 09:00～12:00	大学生1人、スタッフ1人 合計2人		
③取材記事作成	8月22日～ 10月1日まで	6人より取材記事提出有り		③編集会議・校正・印刷・11/15発行予定
④活動報告会	11月26日予定			④センターまつりにて活動報告

イ 市民の市民活動参加を促進する事業の実施（年1回）

【市民の市民活動参加を促進する事業 1回実施】

事業名・講師等	実施日	参加者数
市民活動のはじめ方講座 NPO 法人湘南 NPO サポートセンタ ー 坂田理事長	5月27日(土) 13:30~15:30	1団体・1人、個人・10人 スタッフ・3人 合計・14人

(7) その他市民活動の推進に関すること。

ア 市との情報共有（センター運営状況の報告等）（毎月1回）

【市職員を含めたスタッフミーティングの実施 6回】

別紙「スタッフミーティング議事録」のとおり。

4月	4月5日(水)
5月	5月9日(火)
6月	6月5日(月)
7月	7月4日(火)
8月	8月4日(金)
9月	9月6日(水)

イ センターの清潔さの維持のための最低限の清掃

【随時実施】

ウ その他、市が参加を必要とした関係機関等のイベントなどへの参加（1～3回を想定）

【10月14日(土) TOKAI グローカルフェスタ出展：東海大学湘南校舎】

【10月22日(日) 日産車体遊人びあ出展、NPO 法人フードバンク湘南へ声かけ出展】

2 業務内容を履行するための要件に対する対応

(1) 常時2名をセンターに配置すること。

ただし、業務内容に応じて必要最小限の範囲で増員可能とする。

- ・常時2名をセンターに配置し、業務内容に応じ増員をした
- ・湘南ひらつか七夕まつり開催に伴い、令和5年7月5日(水)午前9時から7月10日(月)17時までの期間を休館とした。

(2) ひらつか市民活動センターのホームページを管理・運営すること。

なお、市と協議のうえ、市民の利便性向上に努めること。

- ・適切にひらつか市民活動センターのホームページを管理・運営した。
- ・市民活動団体情報ファイルを団体自身が編集できるように改修した。

(3) センターは、平塚市立崇善公民館との複合施設であるため、同館との連携・調整をすること。

【相互利用実績】

崇善公民館→センター		上期
団体数	2023年度	27
	2022年度	22
利用人数	2023年度	450
	2022年度	136
センター→崇善公民館		上期
団体数	2023年度	68
	2022年度	104
利用人数	2023年度	567
	2022年度	824

(4) 必要に応じて関係機関や専門家等との連携・調整をすること。

※関係機関とは、公共団体、教育機関、他センター、社会福祉協議会、法人などをいう。

【関係機関や専門家との連携実績】

関係機関名・専門家	実施日	連携・調整内容
神奈川県ボランティア基金 21 団体成長支援事業 主催:NPO 法人森ノオト パブリックリレーションズ・サ ポートプログラム	8月3日(木) 13:00~16:00 11月1日(水) 13:00~16:00 2月16日(金) 13:00~16:00	広報力を高めたい団体(エントリー 10団体)の伴走支援プログラム 《アドバイザーとして協力》 ・横浜市民協働センター ・かわさき市民活動センター ・ひらつか市民活動センター
神奈川県「NPO・企業・大学と のパートナーシップミーティ ング事業」	令和6年1月24日 予定	神奈川県・平塚市・大磯町・二宮町と の連携によって協働開催する。 *契約:湘南NPOサポートセンター
平塚市社会福祉協議会との連 携	ボランティア情報、活動団体の情報提供、防災連携等 適宜情報交換を行った。	
包括支援センターゆりのきと の連携	地域福祉に関する情報の共有、相談内容(個人情報省く) の共有など、適宜情報交換を行った。	
崇善公民館、崇善地区自治会連 合会との連携	崇善公民館との連携による会議室の相互利用、事業の共同 開催、協力。崇自連との情報交換、地域課題の共有適宜	

神奈川県内の支援センターとの連携	神奈川県主催の CEO ミーティングの他、各支援センター間で必要に応じて情報交換を実施した。
------------------	--

3 事業総括

【自由記述】

(1) センター登録団体の概況

現在の登録数は市民活動 316 団体、一般 134 団体、合計 450 団体となっている。

(2022 年度末比で市民活動は±0、一般団体は+2)。

市民活動団体の活動分野別での比率は、保険、医療及び福祉の増進関連が 91(28.8%)、次いで学術、文化、芸術又はスポーツの振興関連が 55 団体(17.4%)、こどもの健全育成は 44 団体 (13.9%) の順である。

(2) 委託契約書による事業の進捗状況

契約書の内容に従い、市民向け講座など各事業、定期刊行物発行、協働推進課との定期的な情報共有等々、上期は遅滞なく履行できた。

(3) 人材育成 (スタッフ研修)

① 相談窓口研修：かながわ県民活動サポートセンター

8 月 15 日、8 月 24 日、9 月 22 日全 3 回各 1 名ずつ計 3 名

② NPO と行政の対話フォーラム

8 月 31 日 (木) : 2 名参加

全国の市町村職員及び中間支援組織 (NPO 等) 総勢 80 名ほどが参加

行政と NPO をはじめとする多様な主体が協働して取り組む、「誰も取り残さない地域づくり」をテーマに各地の事例を共有した。

③ センター主催講座及び事業への参加

NPO 法人の設立講座、こどもわくわくフェスタ、防災座談会等、団体と共に参加し学ぶことで団体の現状把握、相談力向上に努めた。

(4) NPO/市民活動団体の高齢化・事業継承、コロナ 5 類以降での活動状況、若者やシニア世代の市民活動・ボランティア活動への普及について

① 特定非営利活動促進法の成立から 24 年が経過し、団体の高齢化・事業継承は相変わらず課題となっている。また、コロナ 5 類以降特定の分野 (生活困窮者支援、不登校支援、子ども支援等) 以外は活動の低迷、元気がないなどの状況が見える。

② 若い世代のボランティア活動や市民活動への参加の特徴は広く浅く緩くつながり、楽しいことには積極的に参加するが継続的な活動にはつながりにくい。

③ シニア世代のボランティア活動や市民活動、地域活動への参加の機会も引き続き作ってい

くことが必要。シニア世代といっても年齢層によって違いがあるためニーズを把握することも重要である。

*家族のあり方の変化や働き方の変化、コミュニティのつながりの希薄化によって、従来の市民の生活を支えてきた基盤が揺らぎ、更には人口減や少子化によって地域の担い手不足は深刻な課題となっている。求められる市民活動とは、また支援のあり方とは、中間支援団体とのつながりを深めつつ今後も考察を重ねていきたい。

以上